

笑顔いっぱい 元気100倍

令和8年7月6日 文責 教頭



地域の声に耳をかたむけて

最近、地域の方々から「元気にあいさつしてくれるのでうれしい」「登下校で上級生が下級生を気遣う様子をよく見る」など、子どもたちのよい姿について、温かい声をいただいています。

一方で、地域の施設や公園での過ごし方、自転車の乗り方などについて、安全面やマナーの面で心配する声も寄せられています。地域のみなさまからいただいたご意見の一部を紹介します。



地域から届いたうれしい声



- ・最近、見守り隊や地域の方へのあいさつが少しずつできるようになってきている。元気のいい「おはようございます。」という声にこちらも元気をもらっています。
- ・高学年の子たちが、低学年の子の荷物をもってあげたり、やさしく声をかけてくれている。優しい行動にうれしく思う。



地域から届いた心配の声



地域の公共施設での過ごし方について

- 公共施設の自習室は学習以外の利用は禁止と伝えているものの、スマホのゲーム等で利用している。
- 公共施設の中で食べたお菓子のゴミを放置している。
- 公共施設のホールでカップラーメンを食べ、そのゴミを自販機の空き缶用ゴミ箱に捨てている。
- 靴に泥や土がついたまま館内に入って汚す。
- ホールの中で大声を出したり走ったりして、他の利用者の迷惑となっている。



自転車の乗り方について

- ヘルメットをかぶっていない子がいる。
- キックボードで、道路を走っている。キックボードで道路を走ることは禁止されているのに・・・。
- 自転車で飛び出しがあり怖い思いをした。
- 民家の敷地内をショートカットするために、自転車で横切っていく。

子どもたちが捨てていったゴミや汚した場所は、地域や公共施設の職員の方が片付け、掃除をしてくださっています。自分のしたことのその後に思いをめぐらしてみしてほしいと思います。

地域の方々の声は、子どもたちが社会の一員としてよりよく生活していくための大切な学びの機会です。学校では、公共のマナーや交通安全、相手を思いやる心について引き続き指導していきます。

ご家庭でのご協力をお願いします



お子様と「地域での過ごし方」や「公共施設の使い方」について、ぜひ話し合ってみてください。



ヘルメット着用や道路でのルールを守ることなど、自転車の安全な乗り方についてご確認ください。



相手を思いやる気持ちや、自分の行動に責任をもつことの大切さを伝えていきましょう。

地域・家庭・学校が力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支えていきましょう。

ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。